

# 昨年度のご寄付のお礼と活動紹介

2018年度の「寄付キャンペーン」におきまして総額1,316,252円のご寄付を頂きました。心よりお礼申し上げます。寄付金は患者会の活動支援に使用させて頂きました。その成果の一部を紹介させて頂きます。今年度もアレルギーっ子とその家族のために、ご寄付ならびに私どもの活動のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

## 小学生対象の勉強会 【西濃アレルギーの会 Hug】

長良医療センターで、岐阜アレルギー児の親の会 Yummy!さんとの合同企画で、小学生を対象とした「いのちを守る勉強会」を8月9日に開催しました。講座は、金子医師による「食物アレルギーについて」と、アレルギー支援ネットワークの仲さん(管理栄養士・小児アレルギーエドゥケーター)による「食品表示を見てみよう!」でした。最後に、災害備蓄品を紹介し、もし被災してしまった時に自分には何が必要かをグループワークしてから「自分専用の避難リュック作り」をしました。マスクや保存水の他に、食品表示を見ながら非常食を選んでリュックに詰めることが出来ました。アレルギーについて正しく理解し、食べられる食品を自分自身で選択する力を養う会となりました。



## 災害時に役立つポリ袋クッキング 【守山アレルギーの会】



10月10日にアレルギー支援ネットワークの食物アレルギーマイスターの松本さん(防災士)を講師にお招きし、災害時に役立つポリ袋クッキングを行いました。2回目となる今回は、より実践に近い実習をしていただきました。限られた食材、最小限の水を使って、多くの参加者が前回より手際よく作成できました。ただ、今回は調理中に「他人が食べ物をかけてほしいとやってきた」など、様々なハプニングのお題が出され、グループのメンバー同士で手を動かしながら対応の仕方を話し合いました。

正解はなく、実際に起こりうることであり、「困っている人」になり絡む講師に笑いながらも真剣に考えました。災害時を日頃から想定しておくことの重要性を改めて感じ、楽しくて有意義な会となりました。

## 親子で学び体験する企画 【アレルギーっ子あつまあれ会】

湿疹やアトピー性皮膚炎などの方は毎日のスキンケアが重要です。そこで、7月30日にあま市アレルギーの会さんとの合同企画で、小児アレルギーエドゥケーターの藤堂さん(薬剤師)による「親子で学ぶスキンケア教室」



を開催し、皮膚のバリア機能を正常に保つために重要な役割を果たす正しい「スキンケア」を親子で学びました。小さなお子さんにもわかりやすく、石けんの泡立て方、洗い方、保湿クリームの塗り方など、子ども自身(3才~小学3年生)に楽しく体験してもらう事が出来ました。「子ども自身にスキンケアをさせようと考えてもみなかったが、子どもも楽しみながらスキンケアが出来そう!」との声もあり、親子でスキンシップしながら効果的なスキンケアと子ども自身が取り組む大切さについて学び、体験する良い機会となりました。



## アレルギーっ子の災害対策支援

アレルギー支援ネットワークは、日本小児アレルギー学会の要請を受けて、アレルギー対応の食料や肌着などを「アレルギー対応物資の拠点」に緊急発送および日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)に物資をお渡しするなど、初動支援をしております。要請に迅速に対応するため、物資の購入に寄付金の一部を使わせて頂きました。

